

a journal



NAGOYAKINEMA
NEU

ナゴヤキネマ・
ノイ

1 2025
月号

〒464-0850

名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

1月の定休日
火曜日

1/1・7・14
21・28

毎月発行

RESERVATION

■各作品の10日前から上映1時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10日前から当日までの窓口受付(座席指定)をご利用ください。

PLATFORM



公式サイト 公式 Facebook 公式 X 公式 Instagram
@nkn_2024 @nkn_2024

上映スケジュール表は2面をご覧ください

ACCESS



ナゴヤキネマ・ノイ

- ▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩3分
- ▶ 今池スタービル2F(契約駐車場なし)

12.21(土)~ 『どうすればよかったか?』

監督:藤野知明 (2024年 101分)



12.28(土)~1.24(金) 『キノ・ライカ 小さな町の映画館』

監督:ヴェリコ・ヴィダグ (2023年 81分)



12.28(土)~1.10(金) グレタ・ガーウィグ特集



《3作品/入替》

- ① ハンナだけど、生きていく!
監督:ジョー・スワンバーグ (2007年 83分)
- ② BAG HEAD/ バッグヘッド
監督:ジェイ&マーク・デュプラス (2008年 80分)
- ③ ナイツ & ウィークエンズ
監督:G・ガーウィグ、J・スワンバーグ (2008年 79分)

1.4(土)~24(金)『いもうとの時間』



監督:鎌田麗香
プロデューサー:阿武野勝彦
(2024年 89分)

- 1/5(日) 舞台挨拶
鎌田麗香監督
阿武野勝彦プロデューサー

1.11(土)~24(金) 『フード・インク ポスト・コロナ』

監督:ロバート・ケナー、メリッサ・ロブレド (2023年 94分)



1.11(土)~17(金) 『サラダデイズ -SALAD DAYS-』 ※10周年記念ディレクターズカット

監督:スコット・クロフォード (2014-2024年 101分)



1.18(土)~24(金) 『山里は持続可能な世界だった』

監督:原村政樹 (2024年 84分)



1.18(土)~24(金) 『建築と時間と妹島和世』

監督:ホンマタカシ (2020年 60分)



1.25(土)~31(金) 『ゲームの規則』※4K デジタルリマスター版

監督:ジャン・ルノワール (1939年 106分)



『オン・ザ・ロード 1.25(土)~ ~不屈の男、金大中~』

監督:ミン・ファンギ (2024年 129分)



1.25(土)~31(金) 『母と子の絆 ~カネミ油症の真実』

監督:稲塚秀孝 (2024年 86分)



1.25(土)~ 『ニッツ・アイランド 非人間のレポート』

監督:エキエム・バルビエ (2023年 98分)



2025年 近日公開作品

- ヨルゴス・ランティモス特集
- ヴィジョン・オブ・マフマルバフ
- 映画作家ヤン・ゴンジュ
- イスラーム映画祭 10
- ブラックバード、ブラックバード、私は私。
- ピアニストを待ちながら
- Underground
- 鹿の国
- 風たちの学校

1 月上映スケジュール表

1/1(水)・7・14・21・28(火)は休館です。

1/4(土)～10(金)

	1/4(土)	5(日)	6(月)	8(水)	9(木)	10(金)
11:00	『いもうとの時間』					
13:10	『キノ・ライカ 小さな町の映画館』					
14:50	『どうすればよかったか?』					
16:50	①『ハンナだけど』	③『ナイツ&』	②『BAG HEAD』	①『ハンナだけど』	③『ナイツ&』	②『BAG HEAD』
18:40	『いもうとの時間』					

1/11(土)～17(金)

	1/11(土)	12(日)	13(月)	15(水)	16(木)	17(金)
11:00	『キノ・ライカ 小さな町の映画館』					
12:40	『いもうとの時間』					
14:30	『フード・インク ポスト・コロナ』					
16:20	『どうすればよかったか?』					
18:40	『サラダデイズ -SALAD DAYS- 10周年記念ディレクターズカット』					

1/18(土)～24(金)

	1/18(土)	19(日)	20(月)	22(水)	23(木)	24(金)
11:00	『どうすればよかったか?』					
13:00	『いもうとの時間』					
14:45	『山里は持続可能な世界だった』					
16:40	『フード・インク ポスト・コロナ』					
18:30	『建築と時間と妹島和世』					
19:45	『キノ・ライカ 小さな町の映画館』					

1/25(土)～31(金)

	1/25(土)	26(日)	27(月)	29(水)	30(木)	31(金)
11:00	『ゲームの規則 4K デジタルリマスター版』					
13:10	『オン・ザ・ロード ～不屈の男、金大中～』					
15:40	『母と子の絆 ～カネミ油症の真実』					
17:30	『どうすればよかったか?』					
19:30	『ニッツ・アイランド 非人間のレポート』					

ご入場料金・入替制

一般 1800 円 大学生・会員 1400 円 高校生以下 1000 円 シニア(60 歳以上)1300 円
障がい者・会員(シニア・学生)1100 円 ペア割(2 名)2800 円

●『建築と時間と妹島和世』 一般 1200 円 高校生以下 1000 円
その他・ペア割(1 名)1100 円

○会員サービスディ:木曜日 会員・障がい者 1000 円・会員 1 名とのペア(2 名)2000 円
○ファーストディ 一般 1200 円 会員・障がい者 1000 円

会員募集

お申込日から 1 年有効で 2000 円。
会員特典は当日ご料金の割引のみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『どうすればよかったか?』

共に医師で研究者の両親とふたりの姉弟。医学部進学した姉がある日突然、支離滅裂に叫びだした。統合失調症を疑われるが、弟の意思に反して両親は精神科の受診を遠ざけ、やがて家の鍵に鎖と南京錠がかけられた……姉の発症から 18 年後、映像制作を学んだ弟は帰省の度に家族との対話を始め、その後 20 年をカメラに記録し続ける。歪んだ家族像に向き合う容赦のない時間も、二度と出会えないようにいとおいしい瞬間も。家族を描いた最も優れたひとつの、破格の、必見ドキュメンタリーだ。(101 分)

『キノ・ライカ 小さな町の映画館』

フィンランド、カルッキラ。鉄鋼と森と湖の町でシネクラブを主宰するミカ・ラッティと町を拠点にする映画監督アキ・カウリスマキが仲間と共に映画館「キノ・ライカ」を手造りしている。その独特の作品世界の登場人物であるかのような町の人々が新たな映画館を待つ日々を記録したチャーミングなドキュメンタリー。出演、ジム・ジャームッシュ、ユホ・クオスマネン。(81 分)

グレタ・ガーウィグ特集 3 作品 / 入替

『レディ・バード』『パーピー』など米国を代表する映画監督のグレタ・ガーウィグが俳優・監督としてインディペンデント時代に腕を磨いた、人生をこじらせるゼロ年代の群像を切れ味鋭く描いた 3 作品を公開。新卒で TV 局の脚本構成の仕事を得たハンナが恋人の突然の離職に不安を感じて同僚と付き合い始める『ハンナだけど、生きていく!』(83 分)。山小屋で自主製作映画のシナリオ構想をする売れない俳優たちが怪現象に脅かされる『BAG HEAD/ バッグヘッド』(80 分)、NY とシカゴの遠距離恋愛のゆくえを繊細に描きだす『ナイツ&ウィークエンズ』(79 分)。

『いもうとの時間』

東海テレビドキュメンタリー劇場最新作。1961 年、村の懇親会でぶどう酒を飲んだ 5 人の女性が亡くなった。所謂「名張毒ぶどう酒事件」である。奥西勝死刑囚は無実を訴えながら獄中で病死。新証拠の提出を続ける妹の岡美代子さんはすでに 94 歳。いまだに再審には至っていない。この事件についての東海テレビのドキュメンタリーは、『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』『眠る村』に続き 8 作目。ナレーション=仲代達矢。司法の正義を問う 89 分。

『フード・インク ポスト・コロナ』

新大統領を迎え政治不信や陰謀論渦巻く米国社会に、15年前、食肉や穀物の生産から食卓までを支配する巨大企業を暴いた大ヒットドキュメンタリー『フード・インク』が主題新たに登場！パンデミックで250%増を売り上げた食品大手、謎の“超加工食品”や、小児を成人疾病に誘う制度の問題性を分かり易く描き、また各地で食の安全と持続可能な農業経営へと動き出す人々や小規模農業の取り組みを魅力的、エンパワメントに記録する。(94分)

『サラダデイズ -SALAD DAYS- 10周年ディレクターズカット』

80年代初頭から始まり、マイナー・スレット、フガジ、バッド・ブレインズなどに代表されるDCハードコアパンク・シーンを記録した記念碑的ドキュメンタリーが制作10年を経てスクリーンに蘇る。オルタナティブなハードコアの聖地、今池で！(101分)

『山里は持続可能な世界だった』

昭和、高度成長期の日本で第一次産業に従事した人々の白黒写真をもとに、『武蔵野』『若者は山里をめざす』のドキュメンタリー映画監督原村政樹監督が手掛ける最新作。埼玉、群馬、福島の農家をめぐり、人々の暮らしの記憶と豊かな知見から新たな共生社会への希望を見出してゆく。(84分)

『建築と時間と妹島和世』

金沢21世紀美術館、ルーブル美術館ランス別館などを手掛け、建築界のノーベル賞とも称されるプリッカー賞を受賞した建築家、妹島和世(2024年文化功労者に選出される)。大阪芸術大学アートサイエンス学科の新校舎を手掛けた妹島の3年6か月の創造の過程を写真家ホンマタカシが映像作品とした。2020年既公開作品。(60分)

『ゲームの規則』4K デジタルリマスター版

ジャン・ルノワール監督の珠玉の傑作が4Kデジタル・リマスターされて降臨する。ある侯爵の別荘に集う人々の一夜の出来事を中心に繰り広げられる大騒動が物語の骨子だが、話題は彼方此方へと寄り道し、風刺の効いたシニカルな語り口であると同時に、おおらかなユーモアも溢れる筆致でもあり、様々な要素が混在する不思議な映画。世界中のオールタイムベストテンで必ず上位にランキングされるのも頷ける逸品。(110分)

『オン・ザ・ロード ~不屈の男、金大中』

日本の植民地時代に生まれ、海運会社を営んだ後に、政治家を志し、理論家として名を馳せるも、軍事政権下での抑圧、日本で起きた拉致事件、帰国後の軟禁、投獄、死刑判決まで受けながらも、民主化実現のために闘い続け、後に大統領にもなった韓国の政治家金大中(キム・デジュン)の生涯を描くドキュメンタリー映画。個人史であると同時に、自らの力で民主主義を手にし、それを手放すまいとする韓国の近現代史そのものが同時に示される。(129分)

『母と子の絆~カネミ油症の真実』

1968年にカネミ倉庫(北九州市小倉)が製造した食用米ぬか油に混入したPCB(ポリ塩化ビフェニール)によって引き起こされた、日本最大の食中毒事件「カネミ油症事件」。発生から半世紀以上を経ても世代を越えて、被害の連鎖が続いている。本作は、そもそもの事件の発端から経緯、その症状の苛烈さ、そして今なお続く痛みの現実を明らかにし、公的な支援・救済の不十分さを問う。(86分)

next arts 通信

そこに光が降りてくる 青木野枝/三嶋りつ恵

東京都庭園美術館の本館は、1933(昭和8)年に皇族朝香宮家の自邸として建てられ、アール・デコの装飾空間を誇る歴史的建築である。1983(昭和58)年に美術館として開館、開館40周年を迎えた昨年には、4代目館長に建築家の妹島和世さんを迎えた。

現在、鉄とガラスをそれぞれ素材とする女性作家の二人展が開催中(2025年2月16日まで)である。鉄の青木野枝とガラスの三嶋りつ恵は、ともに火を用いて熱く輝く炎によって、素材に生命を吹き込んだという共通点がある。宮邸を彩るシャンデリアやレリーフの装飾には鉄やガラスが用いられており、二人の共演というより、それぞれが空間との競演を呈していたと言ったほうが良いだろう。

装飾的な空間になら、透明なガラスは調和しそうだが、鉄の彫刻が果たして収まるのかと疑問に思われるかもしれない。そこが本展の醍醐味とも言える。圧倒的に青木の鉄のほうが、光をはらんで、軽やかに空間に存在していた。そう、この展覧会のテーマは素材ではなく「光」だったのだ。

使い古しの色とりどりの石鹸を鉄の枠の中に積み上げた、青木のお馴染みの作品。その色と光が、上部のステンドグラスの照明器具と呼応しているのが、なんともチャミングに感じられた。「鉄は内部に透明な光をもっている」という青木の力量が遺憾なく発揮されていた。

【トトチ】

無知の知

(その6) 便利さの陰に

今、マイクロプラスチック(以下、MiP)による汚染が大きな問題になっている。

石油化学産業によるプラスチック製品の開発と利用はあらゆる分野に進出し、その便利さの故に世界中で利用されてきた。海岸には捨てられたペットボトルやプラスチック製品が打ち上げられているのも珍しくない。

その結果が今、地球レベルの大きな問題になっている。MiPは海や川の魚にも蓄積し日常生活に深く入り込んでいる。

又、ペットボトルの水にはMiPが溶けており、それを飲み続けることで血流を通じて体内に蓄積する。体内に入ったMiPの40%は脳に蓄積するという研究もある。

その結果、毛細血管を詰まらせ血圧が上がり、脳梗塞、心筋梗塞や認知症を起こすという。母体の胎盤や男子の精巣にも見つかっており生殖機能にも悪影響が指摘されている。土壌中のMiPは植物の根から取り込まれ植物の成長を阻害する。

この状態が続けば世界の食糧危機を早めるとの指摘もある。こんな事態を20年前の誰が想定したのだろうか。便利さと短期的な豊かさを求める経済主義は人類だけでなく地球の未来をも危うくする。未来の為に我々は今、何をすべきか

(MK)

パットと、みて、ポン!

今から40年以上前の話。今池の北にあった喫茶店で友人が演劇をするというので行ってきた。それまで演劇というのは、舞台と客席が予め設けられている劇場(テント公演や野外劇も)で行われているものと思っていたので「どうなるの?」と思っていたが「そうか、椅子やテーブルの配置を変えればいいのか」と空間に対する認識が変わった。どういうことかという、店の設えは「変わらないもの」という先入観をそれまで持っていたということだ。今なら「そんなことか」なのだが、その頃の筆者には考え及ばないことだった。

さて、その喫茶店であるが、所有していたのは劇団シアターウィークエンド。夕方まで喫茶店で夜は稽古場という、実に賃貸的に無駄のない活用だった。劇団がアトリエを持つと概ね稽古と打合せだけに使われ、空き時間が多くを占める(その間は小道具などの倉庫状態か?)。「空いている時はご利用いただけます」と言うものの、大抵は自分たちの稽古と重なってしまい、他者が借りられることは少ない。現在、名古屋の劇団でアトリエを持っているところもちらほらあるが、実質の活用時間は、例えば18時~22時で稽古をしているだけなら、実に83%の時間が何も使われずに家賃として消えていることになる。そりゃアトリエを持たないわな。でもね、認識を少し変えて「8割以上の余白があるのか?」にシフトして「それを稼働できれば収益に繋がるかも?」と、そんな風に考えてはいかげなものか。やり方次第で、余白は宝に変わる。(P)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

次期アメリカ大統領に自国第一主義を唱えるトランプ氏が返り咲くことになり、世界各国で警戒感が広がっている。イスラエル軍との戦闘が続くパレスチナも例外ではない。トランプ政権では、露骨にイスラエル寄りになることは明白であるからだ。ガザ地区は大規模な空爆と地上侵攻によって破壊尽くされ、死傷者も空爆が続いているが、イスラエルは停戦に応じる気配もなく、「ハマス壊滅」を叫び、無差別攻撃を続けている。8月刊行の「ハマスの実像」(集英社新書)は占領に抗して闘い続けてきたイスラム組織について、1987年の創設から今日にいたる歴史を詳細に綴っている。

著者の川上泰徳氏は長らく中東地域の朝日新聞特派員を務めたジャーナリストであるが、自らの取材や指導者へのインタビュー等をもとにハマスの実体を明らかにしている。そこで強調しているのは、軍事組織である前に社会事業組織である、ということだ。学校や病院の建設、貧困救済活動などを継続し、ガザ住民の支持を得て統治してきたのである。そうした面を捨象して、ハマスを「テロ組織」と決めつけることには疑問を呈している。

ガザ戦争は、宗教間や民族間の争いではなく、イスラエルに対するパレスチナ民衆の反占領の闘いである。そうした本質を見誤らないことが極めて重要であると思う。

いなかのじけん

持続不可能

次の総代が決まらない。「S一郎さんは、まだ仕事やっとならねえか。T勇くんも働いてるさ。そうだから、ありやも、ありやもたないもんで仕事しとるだけじゃないか。」好き放題言われておりますが、定年が遅くなり、年金も先延ばしになってまいりますと、人がおりません。で、いよいよ定年になりますと、やれ病気持ちでしてやら、孫の面倒やらでお断りを入れてくる。

農業も一緒。中小・零細農家の担い手不足でこのまあいくと2030年には日本の耕作面積の35%減、東北地方の農地が丸ごとなくなる試算だそう。定年後は晴耕雨読の暮らしか、なんているのは55才定年で年金も沢山もらえて、残りの人生30年百姓ができた夢のような時代の話で、そこはそれ赤字になっても年金で穴埋めできた。実はそういう零細農家が日本の胃袋を満たしてきたのだ。今のように年金だけでは暮らせず、農業やっても赤字だと、75才まで会社の厄介にならざるを得ない。その後は田畑は誰かに任せて後は野となれ山となれ、日帰りの温泉にでも行ってくるわ、になっちゃう。

さてさて、海に向こう米国はどうか。『フード・インク ポスト・コロナ』を見ると、まあ、あちらは農業が工業化し、スーパー加工食品を食べるしかない貧乏人が、皮肉なことになり過ぎて病気になる。大々規模農業でないとやっていけないので、廃業する農家もあって一方はますます耕作面積が増えて、かえって儲からなくなる悪循環。どっちもどん詰まり。どうする。地産地消か、なあ。



**ナゴヤ
キネマ・
ノイ**

協力店

NAGOYA
KINEMA
NEU

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
【院内処方 / 保険診療】

診療時間
午前 10時～13時・午後 15時～20時
毎週土曜・日曜・祝日休診

地下鉄伏見駅①番出口より徒歩2分

☎052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

**BAR
パルク**

(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに

名古屋市中区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)

国際センター 駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑥出口から徒歩8分

不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Tokuza は
朝までやってる
呑み屋である。

052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
キネマ・ノイより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと
Restaurant Bar

052-753-4300
年中無休 pm6:00～am1:00
キネマ・ノイより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

**JAZZ
MATILDA**
DRINK & FOOD

●丸栄 入江町通
●かにか本家 三蔵通
●フリンセス 白川通
●ガーデンホテル

●気軽に楽しめるお店です
●お一人様大歓迎 ●日・月曜定休 ●席料 ¥500
●オーダー ¥300～ ●営業時間 19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

Blackboots

"BLACK EXPERIENCE by BLACKBOOTS"
〒460-0008
名古屋市中区栄 3-20-14 住吉ビル 2F 208

TEL&FAX: 052-242-4432
OPEN HOUR 12:00 - 20:00
MAIL: info@blackboots.jp
WEB: http://www.blackboots.jp

- ESTABLISHED in 2005 -

Hair Salon VARIÉTÉ
WEB: http://variete.hp4u.jp

ヘアサロン バリエテ

※営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00
※定休日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 ☎751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「トリュエール」のあるビル

感じる、考えるひとのための本屋

bookshop & gallery
ON READING

www.onreading.jp
on_reading

地下鉄金山公園駅 2番出口より徒歩1分

女性 専門 からだほぐしと足つぼ

みずたま

みかげさまで17周年
本山駅6番出口すぐ
10:00-20:00 火曜・第1/3水曜定休
052-781-8239

アリガト

髪切って、凛とする。

〒464-0074
千種区中田2-18-23
052-761-7723

パンクをしたら
DAISY

052-228-0977

急ぎの荷物も当日お届け!
自転車便・自転車出張修理
デザインメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

アンティーク・リサイクル着物&カフェ

南丸

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市中区今池3-2-9 マビルディング1階

骨董・古書・美術品

こもれび

鑑定・買取

昭和区 桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル

地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農業・化学肥料ゼロ栽培

まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200

くらしを耕す会

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房

ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩5分。古本屋です。

名古屋市中区今池 5-14-3
11:00 - 18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法

帰来堂
鍼灸療院

地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30 (最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制) kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室

無料体験しませんか
きよもと みやゆり
清元美哉廣

090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

群れない魂の止まり木
星屑珈琲

静かな夜型喫茶

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん

**鞠奴パン
食堂**

●営業日 / 木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町録の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

オーストラリアの人形劇団テラピン・パベット・シアターと
愛知県芸術劇場の国際共同制作作品

Goldfish
ゴールドフィッシュ

金魚と海とわたしたち

2025年
2月9日(日)14:00・11日(火・祝)11:00/14:00
愛知県芸術劇場小ホール
お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。

http://mokumoku.asia

名古屋中瑞穂区 tel 052-852-7611

ナゴヤキネマ・ノイから168歩

本と酒
ANZAI COVERDOCK
安西コブドー

19時～27時頃
不定休

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集

平野勇治 著
安住恭子 発行

小さな映画館から
1650円(税込)

ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

あなたにも
できる
パレスチナ連帯

BDS JAPAN

https://bdsjapanbulletin.wordpress.com/